

令和6年度 第1回碧南市スポーツ推進審議会 議事録

日時 令和6年6月6日（木）

13時30分～14時8分

会場 碧南市臨海体育館 第2体育室

欠席者 伴野義雄 小田智明 鈴木哲夫

※敬称略

○市民憲章唱和

1 教育長あいさつ

お忙しい中お集まりいただきありがとうございます。

また、碧南市のスポーツ振興にご理解ご協力をいただきまして、重ねてお礼申し上げます。

本日は忌憚なき意見をいただきますよう、お願い申し上げます。

さて、会長の任命ですが、「碧南市スポーツ推進審議会条例」の第4条第2項に『会長は教育長が任命』とありますので、本日欠席ではありますがスポーツ協会の代表である伴野義雄様を任命します。なお、伴野様には事前に了承を得ております。

2 副会長あいさつ

教育長

副会長につきましては、「碧南市スポーツ推進審議会条例」の第4条第2項に『副会長は会長が指名』とあります。事前に伴野会長に伺ったところ、スポーツ推進委員の岡部茂也様を指名するとのことでした。岡部様、ご挨拶をお願いいたします。

岡部副会長

ただいまご指名預かりました、スポーツ推進委員代表の岡部茂也と申します。本日はお忙しい中お集まりいただきましてありがとうございます。

碧南市のスポーツ振興をますます活発にするために審議会があると思っておりますので、みなさまのご協力と活発なご意見を賜りたいと思っておりますのでよろしくお願いいたします。

3 議 題

(1) 令和6年度スポーツ課事業計画について

～資料に沿って説明～

～質疑～

委員 A

資料2ページ目にあります主催（共催）事業につきまして、表の右端に参加目標人数を記載していただいておりますが、この目標人数を達成するためにどのような手段や方法を考えていますか。

事務局

貴重なご意見ありがとうございます。事務局としても多くの方にご参加していただくことが望ましく思っております。現時点で、主管団体と協力して多くの方にご参加いただけるよう取り組んでおりますが、これで十分とは考えておりません。従来のホームページや広報だけでは周知に限界がありますので、最近ですと SNS を活用した PR もやっていかなければならないと考えております。他にも、事業の内容を改めて精査し、今まで参加してこなかった人にも興味を持っていただけるような事業内容にしていこうと考えております。その折には、本日ご出席いただいております委員の皆様にもお力添えをいただきたく思いますので、よろしくお願いいたします。

岡部副会長

ありがとうございます。昨年や一昨年に事業へ参加された方が、また今年も参加したくなるような事業の内容であれば、運営側の広報だけでなく、参加者による口コミ等でも PR になると思います。そういった内外問わない PR も大切だと思いますので、目標を達成できるようにお願いいたします。

(2) その他

教育長

部活動の地域移行というのを、数年前から国策として国が進めています。内容としては、中学校から部活動を引き離そうとするものです。発端は、教員の働き方改革に合わせたものでありましたが、近年になり移行が難しい自治体がほとんどになっています。中学校の部活動は全員加入となっておりますが、これを切り離すとなると難しいです。部活動は命を預かる事業であるが、これは仕事でないとなかなかできない。ボランティア

で行っても、万が一の時に誰が責任をとれるのでしょうか。碧南では命にかかわる事故などは起きていませんが、責任の所在を教師が受け持っています。これを社会が受け皿となってやれるかという、何とも言えません。やれるときもあるし、やれないときもあります。このような状態だと安定した活動ができません。これは国が政策を打ち出した時の見立てが甘かったのではと思います。

現在碧南市が独自で行っているのは、部活動の地域支援です。活動は、平日の夜間に学校開放を活用して実施しております。現在中学部活動は平日の月曜日と木曜日がお休みです。このことについて中学生にアンケートを取ったところ、男女ともに半数以上がもっと部活動をしたいと回答しました。この要望に応えるべく部活動支援事業を開始しました。これは教師も講師として加盟して実施している事業です。加えて、外部からの指導者も集い、全体で140名ほどの講師が登録されています。こういった形で続けたほうが安定しますし、責任の所在も学校に任せられ、保険の適用もやりやすい状況です。

また、この部活動支援については、消耗品の購入から指導者の謝礼まで市の予算のみで実施しております。指導者には一回の活動で3,000円の謝礼をお渡ししています。ただし交通費は出ておりません。講師の方にも都合がございますので、毎回活動に来ていただける方もいれば、今月は1回しか行けないという方もいらっしゃいます。一つの部活動に複数人登録している状況ですので、必ず誰かは講師が派遣できる形でございます。ただ、碧南市内から講師を募っている都合で、他より講師の登録人数が少ない競技があるのも事実です。他にも時代にそぐわない指導方法や、練習内容を実施しないように、指導者への指導研修も行っております。こういった問題を解決すべく努めております。